



PEACE石川

原発特集
2014.4

発行 石川県平和運動センター

金沢市西念3-3-5 Tel. 076-233-2170

ホームページhttp://i-peace-ishikawa.com/

反戦・平和、人権
環境の火を消すな

アベ政権は
アブない

小話

原発の避難訓練とかけて
戦時中の防災訓練と解く
その心は役に立たない

次号は、志賀原発特集



旭日旗 似合うは
ファシストばかりなり

増える軍事費 減る賃金
こんな日本に誰がした

平和産業 静かな海に
バス 電車 船浮かぶ

許さな い！
戦争 首切り 再稼働

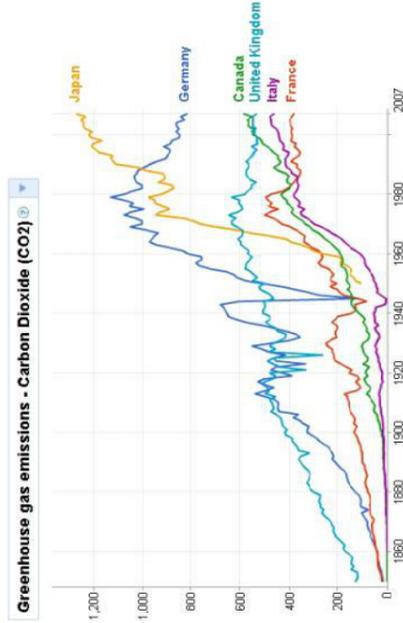
原発は、地球温暖化(CO²)対策にならない

核分裂は死の灰をつくり 環境を破壊するだけ！

(原発の不都合な真実 下図参照)

原発は 温暖化対策の 切り札か？

グラフでは、日本の二酸化炭素排出量は、2007年時点で一番上位にある。60年代から原発建設が増えたが、それによる排出量低減はまったく見られず、逆に急激に増えている。一方、ドイツやカナダでは低減効果が見られる。



これらを総合すると、原発が二酸化炭素の排出量を左右するのではない、ということが分かる。他の政策を含めた総合的な対策が必要なのだ。

原発の電気は安いのか？

日本の電気料は「世界一高い」と言われているが、アメリカの約二倍。「原発を止めると電気代が上がる」というのは「原発の利権8000億円〜1兆円をとり続けるために言う」と考えられる。しかも総括原価方式ゆえ、投資すればするほど、その原価の3%を上乗せできるため、3.11以降の「安全対策」に1兆円以上をかけても、すべて「電気料」として回収できる。だから痛くもかゆくもないのです。

使用済み核燃料の 捨て場所はない！

電事連によると、全原発の使用済み核燃料プールの保管容量は2万630トン。このうち7割近くが埋まり、残りは6400t分。

全原発が通常通り運転した場合、発生する使用済み燃料は年間千トン。6年ほどで満杯になる計算です。各原発の使用済み核燃料を受け入れていた青森県六ヶ所村

の再処理施設も2860トンに達し、限界(3千トン)が迫っており、昨年8月からは受け入れが行われていない。

避難計画は 再稼働の条件にもならない

UPZ区域内の自治体は15道府県45市町村から21道府県135市町村に。対象となる住民も70万人から500万人近くに急増した。

避難計画には避難先や避難ルート、移動手段、支援が必要な高齢者らの人数把握などが求められている。原子力防災の経験がない自治体があることに加え、広域での調整が必要な課題も多い。策定済みは1月末現在で58市町村にとどまっている。

策定を終えた自治体の計画も万全とは言い難い。入院患者や要介護高齢者の避難想定ができていなかったり、道路が寸断されないことを前提にルートを決めたりといった問題がみられる。計画に基づいた訓練では、悪天候でヘリコプターや船での避難を「断念」した例が相次いでいる。

事故処理の現場は 高線量が日常化

右脳への血流が止まっていた

病名は内頸動脈閉鎖症。脳を写した画像は半分が真っ暗だった。東電福島第一原発で事故処理に当たっていた関東在住の男性は今、労災を申請するか迷っている。

焦点になるのは、原発作業による被ばくと発症との因果関係。医師からは「常識的にはあまい」と説明されたが、男性は納得できない。「体の異常は原発作業が原因としか考えられない。事故処理に関わる前に撮った脳の断層撮影(CT)は正常だった。それなのに「普通だったら生きていられない」と医師から言われるほどの症状に陥った。他の原発でも働いた経験がある男性にとって、福島第一原発の現場は驚きの連続だった。働き始めたのは2011年暮れ。それから約1年半勤務した。

仕事は他の作業員の被ばく線量検査。雨の日には、作業員の雨具をはさみで切つて脱がせた。放射性物質を含んだ水滴が何度も飛び